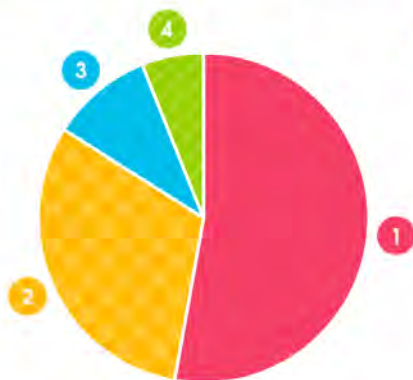


孤独・孤立政策に関する学生意見

中央大学法学部・政治過程論 履修者数 277 人 出席回答者 231 人

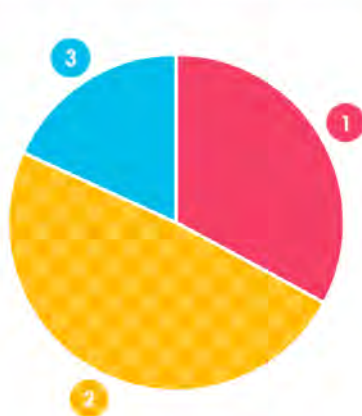
2023 年 10 月 18 日実施

Q1 孤独に関してあなたの実感に近いのはどれでしょう



①	①人と接する機会があまりない時に孤独を感じる	122 (52.8%)
②	②人に取り巻かれていて違和感が強い時に孤独を感じる	72 (31.2%)
③	③人と接することは好きではなく一人である時が一番充実する	23 (10.0%)
④	④どれも異なる	14 (6.1%)

Q2 孤独・孤立を政治や行政が政策課題とすることをどう考えますか？



①	①行政がなんらかの社会関係やつながりを押しつけることになり反対である	76 (32.9%)
②	②孤独・孤立は人を深く傷つけるので行政の課題とすることに賛成である	113 (48.9%)
③	③一定の条件次第である	42 (18.2%)

「一定の条件次第」という回答者に具体的に叙述してもらおうと…

孤独孤立対策に求められる条件

「孤独を社会課題として位置づける時に、行政として対応すべき狭義の孤独をしっかりと

まず定義付ける必要がある。そうしなければ、かなりの誤解を生みながら、ターゲットとしている層に対応することも難しくなるだろう。この定義付けをした上で、それを市民に周知させる必要があると考える。」

「孤独・孤立であると、行政が勝手に判断しない・判断して押し付けない。政策を行うのは良いが、政策をしていることを知らせる。・困っている人がいざ助けを求められる、居場所を見つけられるような政策を行う」

「孤独対策として構築された人間関係が、硬直的であったり年功序列的なムラ社会の伝統を受け継ぐものではないようにする。」

#### 行政はファイナンスに留める

「孤独、孤立対策は行政よりは NPO などのサードセクターや民間企業がやるべきだと思う。行政はあくまで財源的な裏付けや、認定制度などで後押しをするべき。」

#### 他の施策の課題追求のなかで

「働き方改革などによって孤独を減らす取り組みや、老後における人との関わる機会や、社会的な役割を行政が環境として作るのは効果的で良いと思う。」

「例えば、誘拐や強盗などの犯罪防止のために孤独を政策課題にするのは良いと思う」

「例えば所得が少なく人と関わる機会が少ない人がいるのであれば行政が手助けをすることは可能かと思われるが、一概に行政が関わることで孤独が無くなるとは考えにくいいため、その人の孤独の状況にもよる」

## 孤独・孤立対策推進法（2023年6月7日公布）

### 3つの理念（第二条）

- (1) 人生のあらゆる段階で何人にも生じうる問題
- (2) 当事者と家族の立場に立った支援
- (3) 当事者の意向に沿ったつながりづくり

問題の普遍性

孤独の多様なあり方への対処

つながりのおしつけではなく

### 基本的施策

相談支援を軸に多様な主体の連携をすすめ支援者を支援する

### 推進体制

孤独・孤立対策推進本部（内閣府）と孤独・孤立対策地域協議会（自治体）